

広報



かわにし

昭和60年11/10 No.327

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

—11月1日現在—

男 4,736 (-11)

女 4,859 (-2)

計 9,595 (-14)

世帯数 2,314 (-4)

() 前月比較



食欲の秋に

調理実習

「薄味でバランスのとれた食生活」を勧めるため、町では、農協と食生活改善推進委員の協力を得て、10月から11月にかけて各町内ごとに調理実習を行っています。

(写真は11月2日の木落会場)

主な内容

- ▷ふれ愛バック発送……〔2〕
- ▷ねん糸加工会社誕生……〔3〕
- ▷国勢調査の状況……〔4〕〔5〕
- ▷藤巻先生にお別れ……〔6〕

- ▷町史の窓……〔7〕
- ▷ひろば……〔8〕〔9〕
- ▷情報……〔10〕
- ▷町内さんぽ……〔11〕
- ▷戸籍の窓から……〔12〕

11月の休日救急医

17日 大島医院(川原町)

23日 千手診療所

24日 中条病院(中条)

12月上旬の予定

1日 山口医院(下条)

8日 至誠堂医院(西浦町)

秋の味覚の『ふれ愛パック』

会員にお届けしました

川西町は、企業の誘致、地場産業の育成、観光開発などと、行政のあらゆる面で、若者が定住できる豊かな町づくりに取り組んでいるところです。こうした中で、地域産業おこしや村おこし対策として、都会との多面的な交流を実施していく必要性が叫ばれてきました。

そこで、ふれあいパック事業を創設し、「ふれあいパックの会」を誕生させました。町民と会員との心の触れ合いを、活力ある町づくりに生かそうというものです。



「ふれ愛パック」の中身です

今回のメニューは コシヒカリやきのこ汁セット

- 川西町の秋の味覚をいろいろ取りそろえた十月のパックを、二十三日に会員の皆さんのお手元に発送しました。
- 今回お届けしたふるさとの味は次のようになっています。
- ▽基礎品目
 - ・新米コシヒカリ（精米二キログラム）
 - ・きのこ汁セット（四人前）
 - ・くり（一キログラム）
 - ▽選択品目
 - ・ナメコ、シメジ（それぞれ五百グラム）
 - ・いも類
 - ・柿
 - ・食用菊
 - ・漬け物類
 - ・モチ米（精米一キログラム）

これらをおいしく召し上がっていただくために、調理方法一口メモを付けました。

十二月は

切りモチ、野沢菜漬け…

☆十二月のメニュー

- ▽基礎品目
 - ・切りモチ
 - ・野沢菜漬け
 - ・干そば
 - ・豆菓子
- ・サービス品（パックを開けてからのお楽しみ品です）

どなたでも

会員になれます

会員には、川西町の出身者に限らず、心のふるさとを求めたい方、ふるさとの味を楽しみたい

いろんな物でうれしくなりました

浦安市 八重樫 芳江 さん

秋も深まり、お忙しい毎日かと存じます。

十月二十四日、確かに「ふれ愛パック」を受け取りました。いろいろな物が入っていて、うれしくなりました。

調理方法一口メモを見ながら

い方、どなたでもなることができます。ただし、お届けする産物の品質と鮮度を保つため、翌日配達が可能の地区とさせていただきます。

会費は年額一万五千円です。ほかに入会金三千円（三年間有効）をお願いします。

会員の方には、特産品を年三回お届けするほか、イベント等への参加などの特典があります。

申し込み方法

「ふれあいパックの会事務局」
〔〒948-01新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢二番地（川西町役場農政係内） ☎0257（68）3111〕へ申込書を請求し、手続きをしてください。



協定書にサインする高橋社長(右から2人目)

ねん糸加工会社

トーコーが誕生

川西町の仲介によって、高橋工務店と大東紡織が協力し、ねん糸加工事業を始めることになりました。

新会社は、高橋工務店が設立します。これに大東紡織がねん糸機や合糸機などの機械を有償で貸与し、外注加工に出すとともに、技術指導と工場運営についても全面的に協力するという形で誕生します。

会社名は、(有)トーコー(大東紡織の東と高橋工務店の高を採って片仮名にする)と付けられます。工場の場所は上野地内で、北原堤の北側です。

操業開始は今年の十二月下旬で、従業員は十二人(男女半々)くらいからスタートしたいとのこと。年間生産量はねん糸量で約三百トン、かせ量で約百八十トンを見込んでいます。

先月十六日、総合センターで高橋工務店と大東紡織、それに川西町の三者が、「工場立地に関する協定書」を取り交わしました。

高橋工務店の高橋寛治社長は、「まったくの商売違いですが、大東紡織の協力や町の援助をいただいて新会社を軌道に乗せ、地域のお役に立ちたい」と抱負を述べられました。

農地の転用は許可が必要

転用制度のあらまし

農地は、昔から多くの人々が苦勞して築き上げてきた地域の貴重な資源です。

無断転用は周りの人々に大きな迷惑をかけます。転用するときは農業委員会を通じて、秩序ある転用をしましょう。

転用する農地が、農業振興地域の整備に関する法律(二般には略して農振法といっている)の規定による農用地区域から除外されている場合は、変更の手続きが必要です。

農地転用とは…

農地転用とは、農地等を住宅や工場などの建物の敷地、資材置場、駐車場はもとより、道路、山林などの農地以外の用途に使うことです。

■転用許可を必要とする「農地等」

水田、畑、樹園地等の農地のほかに採草放牧地も含まれます。ただし、採草放牧地の所有者、

利用者が自らその採草放牧地を転用する場合には許可がいりません。

農地であるかどうかは現況によって判定されますので、土地登記簿上の地目と一致しないことがあります。

転用は二種類

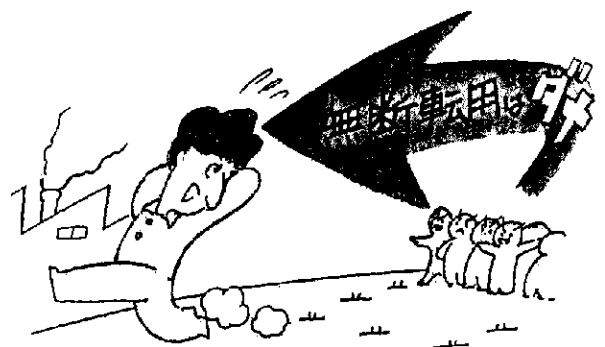
転用には次の二種類があります。

(1) 農地の所有者、耕作者が自らその農地を転用する場合(農地法第四条)

(2) 農地の使用収益権を持たない人が農地の所有者、耕作者から農地を買い受け、借り受け、あるいは使用収益権の移転を受けて転用する場合(農地法第五条)

許可申請の提出

面積によって許可権者が違います。同一の事業のために転用する面積が、



▼二ヘクタール以下の場合

農業委員会に許可申請を提出して、都道府県知事の許可を受けます。

▼二ヘクタールを超える場合
都道府県知事に許可申請を提出して、農林水産大臣の許可を受けます。

無断転用には

厳しい措置

無断転用者には、都道府県知事が工事を中止させ、農地に復元させることがあります。

これに従わない場合、最高三年以下の懲役、百万円以下の罰金に処せられます。

9,423人

国勢調査 川西町の状況

前回より460人の減少

十月一日に実施した国勢調査の川西町の結果がまとまりました。

これは、後日総務庁統計局が公表するまでは、正規の数値として使用できませんが、ほぼ変更がないものと考え、次ページの表によりお知らせします。

前回（昭和五十五年）の国勢調査と比較しますと、人口では四百六十人の減、世帯では四十三世帯の減となっています。

ねん

新しい年金制度

スタートは来年四月

新しい年金制度が来年四月からスタートします。

このたびの年金改正の基本は、「人口の高齢化、産業構造、就業構造などの社会的な変化に対応できるよう、公的年金制度を長期にわたって健全かつ安定的に運営していくための基盤を確保すること」にあります。

さらには、年金制度の中で最も大事な「公平」ということを貫いて年金の改正が図られました。

▼改正の柱

- ・制度体系の再編成
- ・給付と負担の適正化
- ・婦人の年金権の確立

▼国民年金の改正点

- ・被保険者の適用範囲の拡大
- ・基礎年金を支給する制度に発展
- ・基礎年金の財源

新国民年金に

加入する人

■強制加入者

新しい国民年金への加入は次の三種類に区分されます。

①第一号被保険者

「日本国内に住んでいる二十歳以上六十歳未満の自営業者やその家族など」

*現在、国民年金に強制加入している自営業者などの人たちは、特に資格の変更は

なく、第一号被保険者となります。

*これまで任意加入の対象となっていた次のような人も強制加入の第一号被保険者となります。

(1) 他の公的年金制度から障害年金を受けている人とその配偶者および遺族年金を受けている人

(2) 他の公的年金制度で老齢（退職）年金の受給資格を満たしている人とその配偶者

(3) 国会議員、地方議会議員とその配偶者

②第二号被保険者

（厚生年金（船員保険を含む）の被保険者）

*国民年金と厚生年金の両方に加入することになります。

*二十歳未満、または六十歳以上の人も厚生年金加入中は、第二号被保険者になります。

*保険料は、国民年金の分も含めて厚生年金で納めます。

③第三号被保険者

（厚生年金加入者（船員保険を含む）の配偶者で二十歳以上六十歳未満の人）

*厚生年金加入者の配偶者であっても、被扶養者として認定されていない場合、例えば配偶者自身が自営業を営んでいて相当の収入がある場合などは、第一号被保険者となります。

*保険料は、配偶者が加入している厚生年金でまとめて納めます。

■任意加入者

次のような人は、希望すれば、「第一号被保険者」として任意加入することができ

ふくし

ます。

①六十歳以上六十五歳未満の自営業者などで次の人

*老齢基礎年金の受給資格期間を満たしていない人

*保険料未納期間やカラ期間があるため、満額の老齢基礎年金が受けられない人

（繰り上げ支給を受けている人は加入できません）

②外国に住んでいる二十歳以上六十歳未満の日本人

③二十歳以上六十歳未満の学生、または厚生年金や共済組合から老齢（退職）年金を受けている人

海外に居住する
20歳以上
65歳未満の
日本国民

任意加入

60歳以上65歳未満

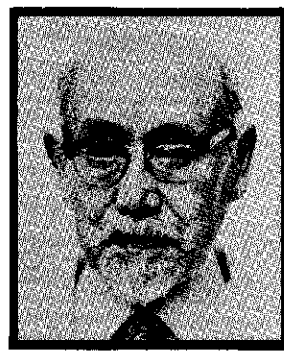


昭和60年国勢調査(概数)と昭和55年国勢調査の比較

事項 町名	60年国勢調査				55年国勢調査				比較			
	世帯数	男	女	計	世帯数	男	女	計	世帯数	男	女	計
中島町	44	82	84	166	47	81	101	182	△3	1	△17	△16
山野田	31	60	65	125	33	62	68	130	△2	△2	△3	△5
発電所通り東	34	70	79	149	36	68	81	149	△2	2	△2	0
発電所通り西	42	77	92	169	41	84	90	174	1	△7	2	△5
下平	0	0	0	0	1	1	1	2	△1	△1	△1	△2
永久公舎	7	10	11	21	13	20	18	38	△6	△10	△7	△17
栄町	43	81	81	162	30	50	51	101	13	31	30	61
山野田住宅	12	9	7	16	11	6	14	20	1	3	△7	△4
県営住宅	10	8	7	15	10	9	7	16	0	△1	0	△1
朝日町	26	55	45	100	8	16	14	30	18	39	31	70
四郎兼	32	68	69	137	30	63	67	130	2	5	2	7
東善寺	37	72	83	155	37	69	94	163	0	3	△11	△8
上町	25	52	55	107	23	56	54	110	2	△4	1	△3
中央町	31	51	55	106	30	50	50	100	1	1	5	6
田中町	40	83	82	165	42	87	82	169	△2	△4	0	△4
神社町	32	64	73	137	31	69	77	146	1	△5	△4	△9
学校町	60	120	119	239	57	115	124	239	3	5	△5	0
中屋敷	44	89	100	189	46	97	107	204	△2	△8	△7	△15
寺尾	47	85	76	161	49	86	78	164	△2	△1	△2	△3
木島	59	113	121	234	58	107	113	220	1	6	8	14
沖立	86	191	195	386	87	201	204	405	△1	△10	△9	△19
伊友	75	168	179	347	75	185	183	368	0	△17	△4	△21
高原田	66	130	140	270	61	124	135	259	5	6	5	11
坪山	46	112	111	223	47	119	117	236	△1	△7	△6	△13
霜条	42	87	81	168	40	92	85	177	2	△5	△4	△9
鶴吉	11	27	28	55	11	31	31	62	0	△4	△3	△7
小計	982	1,964	2,038	4,002	954	1,948	2,046	3,994	28	16	△8	8
上野	181	354	371	725	184	367	386	753	△3	△13	△15	△28
元町	59	133	136	269	59	154	133	287	0	△21	3	△18
新町新田	72	152	161	313	75	154	163	317	△3	△2	△2	△4
下平新田	53	106	87	193	46	106	84	190	7	0	3	3
三領	29	65	58	123	29	77	62	139	0	△12	△4	△16
小根岸	18	39	37	76	16	43	40	83	2	△4	△3	△7
なかまの家	1	16	14	30	0	0	0	0	1	16	14	30
小計	413	865	864	1,729	409	901	868	1,769	4	△36	△4	△40
木落崎	90	190	203	393	90	196	195	391	0	△6	8	2
寺ヶ崎	13	25	23	48	12	25	20	45	1	0	3	3
塩辛	19	40	46	86	19	42	45	87	0	△2	1	△1
仁田	146	278	305	583	149	302	324	626	△3	△24	△19	△43
野口	115	241	259	500	117	259	260	519	△2	△18	△1	△19
四十歩	2	4	4	8	3	5	6	11	△1	△1	△2	△3
原田	31	74	71	145	31	78	72	150	0	△4	△1	△5
根深	21	45	51	96	23	49	63	112	△2	△4	△12	△16
下原	19	40	52	92	19	50	53	103	0	△10	△1	△11
小計	456	937	1,014	1,951	463	1,006	1,038	2,044	△7	△69	△24	△93
中仙田	114	219	230	449	117	232	236	468	△3	△13	△6	△19
室島	61	114	120	234	63	127	131	258	△2	△13	△11	△24
小脇	22	38	37	75	24	40	41	81	△2	△2	△4	△6
高倉	30	54	41	95	37	67	59	126	△7	△13	△18	△31
藤沢	1	3	2	5	16	37	33	70	△15	△34	△31	△65
田戸	25	38	45	83	29	50	54	104	△4	△12	△9	△21
越ヶ沢	1	1	3	4	12	25	22	47	△11	△24	△19	△43
赤谷	55	109	126	235	58	129	138	267	△3	△20	△12	△32
岩瀬	55	105	105	210	59	107	120	227	△4	△2	△15	△17
大倉	9	14	13	27	12	25	18	43	△3	△11	△5	△16
大白倉	34	50	55	105	41	68	76	144	△7	△18	△21	△39
小白倉	57	108	111	219	64	128	113	241	△7	△20	△2	△22
小計	464	853	888	1,741	532	1,035	1,041	2,076	△68	△182	△153	△335
合計	2,315	4,619	4,804	9,423	2,358	4,890	4,993	9,883	△43	△271	△189	△460

(注) 後日総務庁統計局で公表する数字と異なる場合があります。

名誉町民 藤巻先生にお別れ



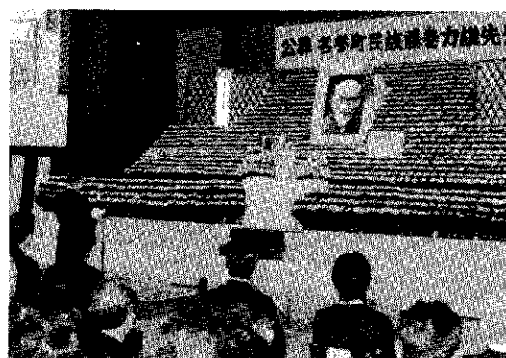
故 藤巻力雄先生

名誉町民の藤巻力雄先生が、先月九日に九十一歳の天寿を全うされました。
藤巻先生は、大正七年に医師

免許を取得され、同九年、上野に藤巻医院を開業されました。以来六十有余年にわたって、地域住民の医療に慈愛の精神で携わって来られました。

また、国民健康保険運営協議会の委員を始め、長年にわたる学校医や老人医療などへの公的な活動にも多大な貢献をされ、郡医師会長もお務めになりました。

これらの功績によって、昭和四十九年には勲五等双光旭日章に輝かれ、五十一年には第一号の名誉町民に推挙されました。町では、藤巻先生のご遺徳をしのび、先月二十日に上野小学校体育館で公葬を行いました。公葬には、ご遺族、町政功労者、町議会議員、各種団体長、上野地区の関係者など、約百八十人が参列し、先生と最後のお



上野小学校で公葬

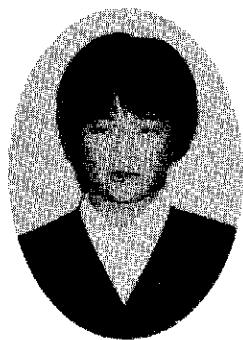
別れをしました。また、地区の方々も大ぜい訪れ、藤巻先生のごめい福をお祈りしました。

「あてになる人になれ」

先生の教えをたいせつにします

上野小学校児童代表

松沢恵美子(六年)



まで六十二年という長い間、子供たちや先生方の健康を守ってくださいました。

私は、一年生の時までお世話になりましたが、いつもにこにことお話された先生のことは、今でもはっきりと覚えております。

保育園の時は、泣かないで健

康診断を受けると、ガムなどほうびにいただいて喜んだものでした。

二年生の時、先生が校医をやめられることになり、お別れの式がありました。その時先生は、「人間は百姓でも会社員でも先生でも何になってもよい。しかし悪いことは絶対にしてはいけません。悪いことをすると頭が重くなって病気になる。それから、あの人ならだいたいよくぶだと人からあてにされる人間になろう。人に何かを頼まれたら、いっしょうけんめいに考え、いっしょうけんめいにやろう。そして、先生やお父さんお

母さんのいうことをよく聞いて、しっかりと勉強しよう」と教えてくださいました。

毎年卒業生がいただいている藤巻賞のアルバムにも、「あてになる人になれ」と、先生の文字が力強く書かれてあります。私たちは、先生の教えてくださった人間としての正しい道をまっすぐに歩いていきたいと思っています。

このことをお誓いして、私たちの悲しいお別れのごあいさつといたします。

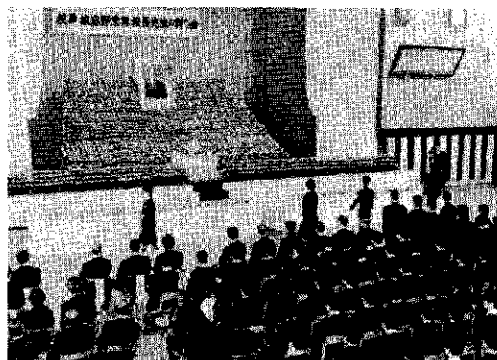
藤巻先生 さようなら どうぞ安らかに眠りください。

(公葬での弔辞を掲載)

川西中学校
庭野校長先生
安らかに……

十月五日、急性心不全のため急逝された川西中学校の庭野忠男校長先生(五十七歳・十日町市出身)の学校葬が、十月十二日に中学校の体育館で行われ、関係者が故人のごめい福をお祈りしました。

庭野校長先生は、昭和二十三年から教壇に立ち、三十七年もの長きにわたって教育の発展に尽くされました。



庭野校長先生の学校葬

「民俗」を特集

こぼれ話第七集 今月末に刊行

『町史こぼれ話―第七集』の編さん作業を急いでいます。今月末日には刊行の予定ですので、再び皆さんの書架に加えていただけたら幸いです。

今回の「こぼれ話」は、この地方の昔からのしきたりや風習、生活などにスポットをあてた「民俗」で一冊としてみました。

私たちの日常は、様々な場面でいわゆる民俗という伝統や習慣などが作用しています。

神仏の信仰に始まり、年中の行事、親から子に伝えられる様々な習慣、生活の知恵など、これらは、日々の生活と切り離せないばかりでなく、生きるための源泉ともされてきました。

ところが、世の中の進展とともに、こうした貴重な生活文化が急速な形で失われつつあるのも事実です。

今のうちに、正しい姿で保存、伝承に心がけないと、近い将来すっかり忘れられるときがくるのかも知れません。

新潟県民俗学会の皆さんが、川西町の仙田地区で民俗の共同探訪を実施したのは、昨年十月

二十七、八の両日でした。学会員三十五人が来町し、地元からはお年寄りを中心に約五十人の人たちが参集して、大がかりな民俗の聞き取り調査が展開されたのです。

年中行事あり、民具あり、信仰、農作業、習俗、民話、方言などが、それぞれ専門とされる

町史の窓

人たちの手によって、幅広く、奥深く調査、探訪されることになったのです。

たまたま、町史編さんの過程にある当町では、これを絶好のチャンスと捕らえ、学会員の探訪記録を町史の中でも利用させて頂いたことをお願いしました。会員各位には、このお願いを心よくご承諾いただき、早々に報告書としての玉稿をちょうだいすることになったものです。

民俗学会の皆さんは、いづれも民俗の研究にかけては県内外に広く名をはせておられる方々

ばかりですので、そうした方々の玉稿で当町の町史を飾っていただけることは、たいへん光栄なことといえます。

町では、町史本誌での利用はもちろん、せつかくの貴重な報告書の数々ですので、『町史こぼれ話』に一括収録させて頂いた

だき、広く町内の皆さんにもご覧願うことにいたしました。残念なことは、この民俗探訪が仙田地区内に限られているため、記述も全町的でないということです。

収集したものである。いづれも県下で名の知られた民俗学界の権威者の労作であって、本誌に玉稿をご提供くださったご厚意に対し、心から深謝の意を捧げたい。

私は本誌の監修者という役目から玉稿を全て拝読させて頂いたが、歴史学の出身である私にとって、民俗学は全くの門外漢であって、教えられ驚かされることばかりで、監修することなどは、まことに僭越であり、沙汰の限りといわなければなら

ない。私は十日町市四日町の寺院（禪宗）の生まれであるので、農村、農家の生活を中心にしたこの民俗調査の細部について、最初はわからない点が多かった。

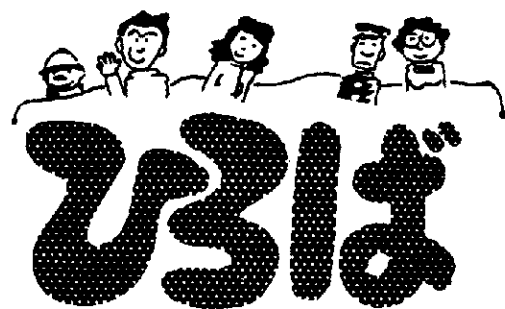
しかし、私の寺は田園と森に囲まれ、寺の信徒はほとんど農民でその地区は農家であり、子供の時からその生活は見聞し、また信徒の農家の手伝いをやった経験もあり、さらに先住の父は禅寺の生活の中に農家の生活を

取り入れていたためであろうか、読んでいくうちにだんだんと諸調査の内容が理解され、興味を持って読み終わることができた。……（中略）……私は今回改めて民俗学会の方々の玉稿を読ませてもらう、私どもがこれまで

日常生活で経験し続けてきた事柄について、あたり前のこと、むしろ平生「なにげなし」でいたことが次々と述べられてあるので驚いた次第であった。しかし、ひるがえって考えてみると、例えば、こうした年中行事や日常生活、また種々の民具類等々、一見たわいのないように思われる民俗の全てが、農村を、また農民たちの生活を直接に支えてきたのであった。私はこのことに思い及んで改めて民俗学の歴史に果たす役割の重要性を教示されたのである。今回調査の対

象にされた旧仙田村と私の出身地である旧中条村の平地の地区では、自然環境が異なっており、その民俗の細部においては違いもあるが、こうしてまとめて叙述していただく共通点も多く知られ、全て身近に理解されるのである。私は本誌に述べられている様々な民俗――例えばその年中行事の折々の手作り料理の食生活が今日に生かされていったら、どんなにか物心両面の生活が豊かになることだろうなどと、しみじみ思ったことである。……（後略）

第七集は一冊千円、近日中に嘱託員を通じて注文を取らせていただきます。



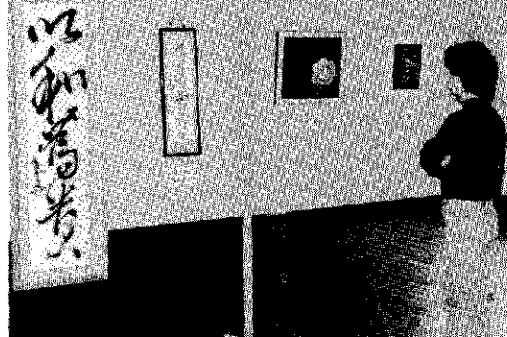
晴れの日と雨の日が一日交代といった具合で、10月はスッキリしない陽気でした。

11月に入り、川西の山々の紅葉は今が盛りですが、もうすぐ色があせ、雪が舞う季節となります。

皆さんは、秋野菜の取り入れや冬囲いなど、冬を迎える準備を済まされましたか……。

芸術の秋

芸術の秋——と題して、川西町美術協会会員展、川西中学校の学習発表会、川西高校の緑江祭の写真を載せてみました。

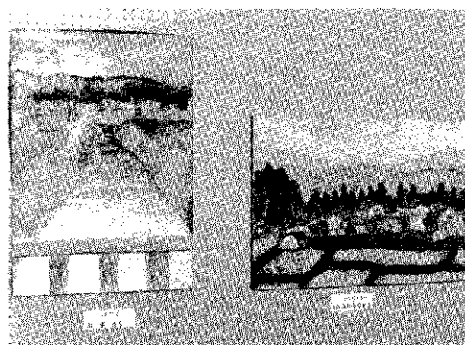


▲美術協会会員展(10月12日 総合センター)

▼川西中の学習発表会(10月27日)



▼川西高校 緑江祭(11月3日)



研修会での意見交換

ゲートボール大会

三分団千寿会Aが優勝

十月十五日、第八回川西町ゲートボール大会が川西中学校のグラウンドで開かれました。三十五チームが参加しての熱戦の結果、三分団千寿会Aが12対9で一分団寿会Aを破り優勝しました。

楽々第一ゲート通過?



魅力ある

観光地づくり研修会

観光協会が実施

た。

川西町観光協会では、先月十六日、商工会館で魅力ある観光地づくり研修会を開催しました。出席者は約六十人でした。

研修の主題としては、町が観光立地診断調査を委託した、新潟市の公園等のコンサルタント会社グリーンシグマ・相楽専務取締役をお招きし、川西町の観光立地条件について講演をいただきました。

相楽さんは、川西町の観光整備の目標を、「旧街道の味わいを残した町、ブナの若芽の萌える町」を基本に、「川西の統一イメージづくり」、「善光寺街道の風情を生かした町並み、家並み環境づくり」、「若者のエネルギーを吸収し力強い町づくり」、「信濃川と洩海川の光と山々の緑を生かしたレクリエーション基地づくり」、「豪雪を町の個性にしようユニーク発想」、「隠れた文化の掘り起こしと文化の香りある環境づくり」、「ふるさと会員制」を七つの柱にするよう提案されました。

また、松葉荘周辺の観光開発については、「グリーンバレー松葉沢公園整備計画」として掲げ、松葉荘修景・水辺・展望・散策・スポーツ・体験—研修の六つのゾーンに区分して、桜並木やつり橋、スキー場などを設け、イメージアップを図る必要があると力説されました。

この後、意見交換が行われ、自然や雪の利用などが話の中心となりました。

松葉荘の周辺



高倉小に お客さん

高倉小学校に先月二十、二十一、二十二日とお客さんが取れました。お客さんは、甲南女子大学（神戸市）四回生の芹川みき子さんです。

どうして高倉小に来られたのですか――

「七月上旬に日本テレビ系のズームイン朝で高倉小のこ

とを知りました。児童二人が伸び伸びと学ぶ姿に感動し、卒業論文のテーマに高倉小の複式教育と学校の沿革を選びました」

勉強になったことは――

「学校が集落の人たちの心のよりどころとなっていて、都会では味わえない温かい人間関係が児童一人という寂しさを吹き飛ばしていることです。冬の厳しさも体験しに來たいです」

将来は、社会科の先生として神戸かふるさとの山口（長崎の佐世保市で生まれ、山口の岩国市で育った）で高校の教壇に立ちたいという芹川さんでした。



児童たちといっしょに校長先生から音楽を教わる芹川さん

心の中に生きる

川西の山河

国分寺市 水落 清子さん

（元町出身）

しました。私は実家にいるところからの「広報かわにし」のファンです。町の様子がよく分かり、親しみが持てます。

ふるさとを思うときは、石川

啄木の歌（ふるさとの……）そのものです。川西の山にしかかられ、川西の川に励まされて今日

はいけいふるさとさん

までまいりました。これからもふるさと川西の山河が心の中で生き続けることでしょう。

私の仕事は、郵便窓口での受け付け事務です。川西町あての物などに出合うと、胸がキュンとなることもしばしばです。

川西町で生まれ、川西町で育ったことにいつも自信と誇りを持って今日までまいりました。またいつの日かふるさとを訪れる日を楽しみにしております。

川西町のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

（旧姓・押木）

わしの 自慢

味わいのある

ミニわらぐつ

小脇 佐藤林治さん

「手の先が器用な人で、大ざっぱなことは仕事でもなんでも絶対にはやりません」。佐藤さんの氣質を傍らで奥さんはこのように評された。

「趣味で力を入れてきたものには植木があります。近くの山からのものがほとんどで、八十鉢くらいあると思います。かやぶきの民家を題材として、色紙に彩色画もかき始めました。ほかには俳句とわら細工を楽しんでいます」

いずれもりっぱなものであり、どれを取り上げててもよかったが、味わいのあるわら細工のミニわらぐつに焦点を合わせてみた。

「十五年前くらい前にミニのわら細工を始めました。冬場、茅ヶ崎（神奈川県）の親せきの整形外科医院で働いていましたが、救急当番医で眠られ

ない夜がありましてね……。その時に思いついたものです」

材料のわらは、しめ縄を作った残りのものを利用される。

「ミニわらぐつは、一冬に七、八十足といったところで。ミニも実用のもので作り方が同じなので、手間はあまり変わりません」

大きさは五、六センチくらいのものでみんなに好まれる。

「表の編み目のところは気をつけています。型を使うのですが、一日違っただけでも左右がつりあわなくなります」

実用のわら細工では、つま掛け以外の履き物はすっぽん、わらじなどとひととおり手掛けられたとのこと。

「今度は、履き物の中に竹を入れ、壁掛け用の花瓶を作ってみよう」と佐藤さんは創作意欲を語ってくださいました。

植木に囲まれ「ミニわらぐつ」を手にした佐藤さん



浄化槽設置届け出は 3週間前に

浄化槽法の施行（10月1日）によって、トイレを水洗化される方には、浄化槽設置届け出が義務付けられました。

必要書類を工事着手の21日前（型式認定浄化槽は10日前）までに役場建設課（建築基準法に基づく確認が必要な場合）、または保健衛生課へ提出してください。

必要書類は浄化槽工事業者が備えていますので、ご相談ください。

設置後の保守点検と清掃の義務、それに放流水の水質検査義務も科せられていますので、留意願います。

浄化槽設置者講習会

○日時 11月21日

午後1時30分から

○会場 総合センター

魚沼高等職業訓練校で 生徒を募集

県立魚沼高等職業訓練校では、次により昭和61年4月入校の生徒を募集しています。

▷募集訓練科

電気施設科・測量科

▷応募資格

高等学校卒業者（61年3月卒業予定者を含む）で、原則として30歳以下の人

▷応募方法

*すでに高等学校を卒業している人——最寄りの公共職業安定所に申し込む

*61年3月卒業予定の人——高等学校の先生へ

※詳しいことは、北魚沼郡堀之内町 県立魚沼高等職業訓練校 [☎02579(4)2410] へお問い合わせください。

白色申告者の 無料相談

税理士会が実施

「税理士はあなたと企業の羅針盤」

税理士会では、11月11日から17日までの1週間、個人で事業をしている人で青色申告を行っていない人のために、記帳指導を中心とした無料相談を行います。

ご希望の方は、最寄りの税理士へおたずねください。

（関東信越税理士会十日町支部）

11月19日に 年末調整説明会

十日町税務署では、昭和60年度年末調整説明会を次のとおり開きます。

源泉所得税の徴収義務者の方は、指定の日に出席してください。

説明会場で、説明書と年末調整関係の諸用紙類をお渡しします。

▶日時 11月19日（火）

午後2時から

▶会場 川西町商工会館

新潟県の最低賃金

昭和60年10月4日から、新潟県内で働くすべての労働者は、

1日 3,367円

（ただし、時間給の労働者は、
1時間421円）

が最低賃金となりました。

停電の お知らせ

●11月26日（火）／午後1時から4時まで、田戸・越ヶ沢、

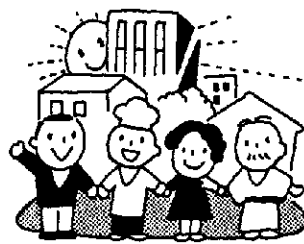
（カ）（イ）（ド）

情報

この社会
あなたの税がいきている

11月11日～17日

「税を知る週間」



税を知る週間・11月11日～17日

毎日通勤、通学に使う道には、見慣れた景色が広がっています。忙しい朝などには、つい見過ごしがちな道端にもちょっと目を向けると、小さな花や草の実などがそのときどきの季節を感じさせてくれます。

ところで、私たちの生活の中にも、いろいろなところで税金が役立っています。道路、公園、学校などにあなたの税金が使われています。

11月11日から17日までは、「税を知る週間」です。この期間中、税務署では私たちの生活に深いつながりのある税金の仕組みや使い道などを、皆さんに正しく理解していただくために税金展や税務相談など各種行事を計画しています。

十日町税務署では、期間中、ライオン堂で中学生の入選標語と図表や地酒の展示をしたり、各種団体との懇談会を行います。また、川西町の中央町では、14日の夕刻に協力団体婦人部による街頭チラシ配布を予定しています。

善意

たくさんの方の善意が今回も寄せられました。

◆一般寄付金

- *庭野厚志さん（十日町市）から十万円
- *登坂泰夫さん（東京・板橋区）から九千三百円
- *小野塚益造さん（東京・北区）から一万円
- *増形貞子さん（東京・足立区）から九千六百六十円
- *田口敏義さん（東京・大田区）から二万円
- *平野益雄さん（川崎市）から二万円

◆社会福祉協議会へ

- *蔵品芳久さん（霜条）から二万円
- *木の芽婦人学級（千手）から六千六百四円
- *門脇慶淳さん（伊友）から三万円

（訂正とおわび）
前号この欄で、丸山利一

となっているのは、丸山利夫さんの誤りでした。訂正し、おわびいたします。

藤巻先生が

町政振興にとご寄付

藤巻定則先生（藤巻医院）が、町政振興のために、百万円をご寄付されました。

防犯灯を二灯

東北電力が寄贈

東北電力では、先月十四日から二十三日までの「秋のサービス旬間」の中で、防犯灯の寄贈や電気安全点検などのさまざまな活動を行いました。

和田十日町営業所長は期間中の十七日に役場を訪ねられ、町に防犯灯を二灯寄贈されました。南雲助役に目録を渡す和田十日町営業所長（左側）



マラソン大会優勝者

- ▷小学1・2年男子〔1km〕
星名康宏（千手小）7'58"
- ▷小学1・2年女子〔1km〕
内山織絵（上野小）8'28"
- ▷小学3・4年男子〔1・5km〕
丸山英紀（橘小）9'17"
- ▷小学3・4年女子〔1・5km〕
丸山安紀子（橘小）10'18"
- ▷小学5・6年男子〔3・5km〕
桐生信秀（白倉小）15'21"
- ▷小学5・6年女子〔3・5km〕
星名夏江（千手小）15'59"
- ▷中学生男子〔5・6km〕
高橋洋一（川西中）23'11"
- ▷中学生女子〔3・5km〕
北村広子（川西中）15'51"
- ▷高校生男子〔5・6km〕
窪田稔（十日町高）20'54"
- ▷一般男子〔5・6km〕
清水悟（中屋敷）23'35"

すすきのそよぐ 農道を力走 町民マラソン大会



小学1・2年生の走り（中間点付近）

第十回町民マラソン大会が、先月十三日、川西中学校グラウンド（スタート・ゴール）を会場に開かれました。参加者六百十人は、秋風にすすきの穂がそよぐ農道を力走しました。会場では、川西町体育協会の表彰式も行われました。

体育協会表彰

（敬称略）

▼体育功労者表彰

*柳藤作（学校町）60歳

柔道を通じて体育振興に貢献

▼優秀競技者表彰

*村越繁正（野口）35歳

59年度軟式卓球全国大会出場

*山岸直子（霜条）32歳

60年度軟式卓球全国大会出場

*丸山千華子（上町）21歳

第40回国体スキー競技会出場

*星名知彦（湯沢町）19歳

第40回国体スキー競技会出場

*小林俊久（習志野市）19歳

59年度高校駅伝全国大会出場

*市川敦（中屋敷）19歳

59年度高校駅伝全国大会出場

*植間光徳（伊友）18歳

59年度高校駅伝全国大会出場

*数藤和明（沖立）17歳

59年度高校駅伝全国大会出場

*高橋正則（東善寺）18歳

60年度全国定高柔道大会出場

*渡辺卓也（中屋敷）14歳

60年度スポーツ少年団卓球全国大会出場

*相崎幸子（田中町）13歳

59年度スポーツ少年団卓球全国大会出場

感謝状贈呈

大倉政洋（高柳町）35歳

スポーツ少年団・野球に尽力

くらしと健康

塩分を減らそう

塩は、人間の体にとってたいせつなものです。取り過ぎると害になります。私たちが生命を維持するために必要な食塩の量は、一日に一グラムくらいと言われています。日本では、味覚の問題などから厚生省で指導している一日の塩分量は、十グラム以下となっています。

塩分の取り過ぎは、高血圧になったり、動脈硬化の進行を早めます。肥満している人にとっては、細胞が水を欲しがり、水分を抱くことにより水太りの状態にもなりま

す。健康な体をつくっていくには、なんとかして日ごろの「塩辛さ」から「薄味」に慣れるようにしたいものです。塩分を減らすコツとしてどんな方法がよいかを考えてみますと、急に減塩食というわけにはいきませんから、日常生活の中で段階的



①汁物は1%の塩を含みますので、一日にみそ汁は一杯を心がけましょう。

②つくで煮類など塩分の多い食品は少量にしましょう。

③調味料を何にでもかける習慣を止めましょう。しょうゆ、ソース、マヨネーズ等に含まれている化学調味料は、三グラムで塩一グラムと同じです。

④酢の物料理は、塩分を少なくしてもおいしく食べられます。塩の代わりに酢を使った料理を多くしてみているかがでしょうか。

⑤漬け物は一日一回として、浅漬けに心がけましょう。

⑥練り物食品の中に含まれている塩分も注意しましょう。以上のことを参考に、それぞれの家庭で、これならできるといふものから実行して、薄味に慣れてください。

戸籍の窓から

昇天——こめい福を祈る

樋口 茂 中仙田 五六
渡貫 精一 上野 五九
小海 正吉 霜 条 六〇
門脇 道弘 伊 友 六四
中村 直治 坪 山 八七
藤巻 力雄 上 野 九一

うぶ声——おすこやかに

丸山 慶子 信一 二女 原 田
羽鳥佐和子 清巳 長女 仁 田
高橋 貢 秀男 長男 発電所通東
齋木 梓 洋一 三女 山 野 田

かわにし 俳壇
太田白南風選

三領 水品 律

○秋晴る、湖畔を巡る馬車の鈴
○蒔蕪の畑の続く草紅葉
秋雨に煙る妙義の湯宿の灯

夜べの雨止みし湯の街霧深し
爽やかに高速道の風走る

岩瀬 小川 益栄

○山の湯の峽ほろ／＼と時雨けり

保坂 陽末 和則 二女 栄 町

たかさこ——円満に

○新郎 小川 勇 岩 瀬
○新婦 上杉 文子 上越市から
○新郎 蔵品 久 霜 条
○新婦 蕨木 純子 十日町市から
○新郎 小幡 忠義 木 落
○新婦 高見澤 米 長野県から
○新郎 桐生 一正 大白倉
○新婦 尾崎 仁美 東京都から
○新郎 野澤 富昭 野 田
○新婦 池竹登志子 原 田から
○新郎 上村 保弘 上 野
○新婦 阿部千恵美 津南町から
○新郎 丸山 一弘 原 田
○新婦 櫻井 和枝 長岡市から
○新郎 野澤 勝美 野 田
○新婦 福原 敏子 小千谷市から

○妻と来し句碑ある湯宿秋ざくら
萩こぼれ敷き池の面の静もれる
骨かかし打ち捨てられし山田かな
トンネルを抜けて稲架道曲りをり

霜条 星名 星光

○まろ／＼と大きくか／＼の月の
萩咲いてなだる、下の温泉宿かな
東照宮陽明門上暮早し
出来秋の村駈廻る用多し
石砕く音高らかに天高し

三領 高橋たかし

○大焚火どっと崩れて人騒ぐ

10月の交通事故発生件数

件数	死者	負傷者	死者	負傷者
16	1	0	24	0
0	0	0	3	0
21	1	0	21	0

()内は前年比較

心配ごと相談

（午後一時から）
●11月13日……橋出張所
●11月20日……克雪センター
●11月27日……総合センター
●12月4日……上野連絡所
●12月11日……橋出張所

訪う家の軒に五鉢の菊あると
初しぐれ鶏頭なおも燃え続く
同病の友の計を知る秋の暮
野口 野沢 寅生
四五連の吊し柿ある湯宿かな
いみ割れし秋茄子多し開山忌
建前のクレーン高し天高し
穠伸ぶ空穂の風に揺れながら
赤谷 小川 秀
新築の窓に置きたる秋の山
夜学する子と母並び針仕事